

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	朝鮮語圏の文化 (Culture in the Korean-speaking sphere)			新座(Niiza)
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	古代～十九世紀後半までの朝鮮史			
担当者名 (Instructor)	呉 吉煥(OO KIRUHAN)			
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)	
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)	
備考 (Notes)				

授業の目標 (Course Objectives)

朝鮮前近代史についての基礎的な知識を習得しつつ、朝鮮語圏における文化の形成と展開の過程を考察し、朝鮮語圏の世界に対する理解の深化と具体的なイメージを作るための土台を提供することを目標とする。

This course aims to provide a foundation for deepening understanding of the Korean-speaking world and creating a concrete image, while acquiring basic knowledge about the pre-modern history of Korea and considering the process of culture formation in the Korean-speaking world.

授業の内容 (Course Contents)

講義では、古代から十九世紀後半までの朝鮮半島の歴史について、政治・文化史を中心に概観する。また日本列島や中国大陸など東アジア諸地域との文化交流についても紹介する。

The course gives an overview of the history of the Korean peninsula from ancient times to the end of the 19th century, focusing on political and cultural history. Also, we will introduce the history of cultural exchange with East Asian regions such as the Japanese archipelago and the Chinese continent.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス(講義のあらすじ, 参考文献の紹介, 朝鮮前近代史の時期区分など)
2. 古代国家出現以前の朝鮮半島
3. 古代国家の成立と発展
4. 古代三国(高句麗・百済・新羅)の文化
5. 統一新羅と渤海
6. 高麗の建国と展開
7. 高麗前期の社会と文化
8. 高麗後期の社会と文化
9. 朝鮮王朝の建国と両班支配体制の確立
10. 朝鮮王朝前期の社会と文化
11. 日本・清の侵入と支配体制の再編
12. 朝鮮王朝の文化交流
13. 朝鮮王朝後期の社会と文化
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

予習として、朝鮮半島の前近代を概説した朝鮮史の文献(参考文献など参照)を読んでおくこと。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

毎授業時のリアクションペーパーの内容(40%)/授業内レポート(20%)/最終テスト(Final Test)(40%)

テキスト (Textbooks)

テキストは特に指定しない。毎回授業のはじめにプリントを配布する。

参考文献 (Readings)

1. 武田幸男・宮嶋博史・馬淵貞利、1993、『朝鮮』、朝日出版社 (ISBN:4-02-258496-3)
2. 朝鮮史研究会編、1995、『朝鮮の歴史 新版』、三省堂 (ISBN:4-385-35469-3)
3. 武田幸男編、2000、『朝鮮史』、山川出版社 (ISBN:4-634-41320-5)
4. 梶村秀樹、2007、『朝鮮史—その発展』、明石書店 (ISBN:978-4-7503-2575-0)
5. 田中俊明編、2008、『朝鮮の歴史—先史から現代』、昭和堂 (ISBN:978-4-8122-0814-4)
6. 池明観、2011、『新版韓国文化史』、明石書店 (ISBN:9784750333380)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)